

同風

機関紙命名 鶴雲斎大宗匠
題字 揮毫 納屋宗淡宗匠
発行所
茶道裏千家淡交会青年部
近畿第二ブロック
発行人
ブロック長 照
中川 雅 照

ご挨拶
ブロック長
中川 雅 照



今期より近畿第二ブロック長を務めさせていただいております大阪西青年部の中川雅照と申します。

平素は大宗匠様、御家元様をはじめ、御宗家、総本部の皆様、近畿第二地区の親支部の先生、諸先輩方には、ブロック諸活動に対し、ご指導ご支援賜り、心より御礼申し上げます。

また、近畿第二ブロックへの出向者を輩出いただいております各青年部の皆様には、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

今期令和五年度は「和」をもって、新たな一步を結ぼう」のテーマのもと、



青年部綱領

われわれ茶道を愛好する青年としての自覚により淡交会の諸活動に協力し、お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、同志的結合によって結ばれた友情と情熱で正しい地域社会発展のために努めよう。

新型コロナウイルス感染症の行動制限やマスク着用義務がなくなり、今までのものと新たなものを融合した形で社会が動いていく中で、改めて茶道を見つめ直し、日本古来の「和」の精神性を持ちつつ、青年らしく今までにない新たな取組みを皆様と共に実践することができました。

七月八、九日に千利休居士生誕の地である大阪府堺市のホテル アゴラリー ジェンシー大阪堺にて、研修委員会が中心となり、四年ぶりに対面でのブロック研修会を開催し、百名を超える皆様にご参加をいただきました。

茶会記と茶道史、体験を交えた表具の扱い方や業躰指導と盛り沢山の研修と、制限のない形での懇親会も大変に盛り上がり、二日間を通して青年部の絆をこえて、学びや交流を深めることができるとなりました。

八月十一日には広報委員会、同風の説明会を実施

しました。

各青年部やブロックの諸活動については、ホームページやSNSで随時報告をさせていただいておりますので、是非ともご覧ください。

また、十月二十二日は交流委員会主催で、ブロック出向者を対象とした交流事業を開催致しました。

今後は、来年度に向けて、改めて各青年部の現状を見つめなおし、求められている方向性を確認した上で、未来にバトンを結ぶことができるよう取り組んでまいりたい所存です。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝を祈念しますと共に、引き続き近畿第二ブロックへのご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和五年度 ブロック協議会 第一回連絡会会議

令和五年二月十一日（土・祝）、大阪 ハートン ホテル北梅田にて、茶道裏千家淡交会青年部近畿第二ブロック令和五年度ブロック協議会と第一回連絡会会議を開催いたしました。

新旧役員の見直しと今後の協議会では新旧役員が揃い、オンライン開催となった前回ぶりに顔を合わせた協議会が開催できました。

協議会前には、令和五年度第一回連絡会会議を開催し、本年度に開催を予定している行事などの確認を行いました。

協議会では、近畿第二地区副地区長 池田周弘様よりご来賓の挨拶をいただき、また淡交会参事補 嶋村裕史様より助成金を贈呈いただきました。



審議事項として、令和四年度の事業報告・決算報告、令和五年度の新役員承認・事業計画・予算案の審議が行われました。

いずれの議案も可決承認され、滞りなく議事を終えることができました。

また、昨年第34期リーダーシップ・トレーナー（LIT）研修に参加された和歌山青年部の大中優理子さんより研修報告がありました。

その後の懇親会では、各委員会の紹介および抱負の発表、各青年部の紹介などが行われ、和やかな雰囲気での交流を深めることができました。

ご多忙の中ご参加いただきましたご来賓の皆様、先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

令和五年度 近畿第二ブロック研修会

令和五年七月八、九日(土・日)
ホテルアゴラリージェンシー大阪堺

開会式・総本部報告

令和五年七月八、九日(土・日)の二日間にわたり、ホテルアゴラリージェンシー大阪堺において近畿第二ブロック研修会を四年ぶりにリアル開催いたしました。

お呈茶では、日乃出葉舗製の涼やかなお菓子と利休大居士の故郷である堺の老舗(創業一八一八年)お茶屋さん松倉茶舗の宇文字(うもんじ)をお出ししました。



開会式では主催者を代表して中川ブロック長からのご挨拶、ブロック顧問 淡交会参事 近畿第二地区副地区長 大阪北支部副支部長バスト全国委員 池田周弘様からのお言葉を頂戴し、

研修会をスタートしました。

総本部報告では、淡交会総本部組織部担当の小野田桂子様から総本部報告とご挨拶を頂戴しました。



全体研修① 茶会記と茶道史

全体研修では、始めに野村美術館館長の谷晃先生に、「茶会記」について教えていただきました。

谷先生によって再現された、織田信長が振舞った茶料理のお写真をスライドで見せていただきました。

茶会記から当時の茶料理が復元できることに驚くとともに、現在の茶懐石との違いを知ることができました。

また、茶会記を読み解くことで、当時の社会情勢や茶道の歴史のみならず、表具の染色や植物等、様々な歴史や研究に繋がる「情報の宝庫」であることも教わりました。



全体研修② 表具について

続いての研修では、株式会社清華堂 会長の岡本吉隆先生に表具についてご教授いただきました。

掛物の歴史、様式の違い等をご解説頂いたあと、掛け軸のかけ方からしまい方まで実演頂き、具体的な扱い方をわかりやすく教えて頂きました。

保存用資材や保存方法に關してもご解説頂きました。

研修後半では、チーム毎にわかれて、実際に掛け軸を桐箱から出して、段ボー

ルで作られた仮床にかけ、かけられたお軸を桐箱に片付けるまで各自実践することができました。

ご用意頂いたお軸に触れ、見て頂きながらの実践は本当に貴重な体験で大変お勉強になりました。



懇親会

懇親会には今日庵業舩北見宗樹先生をはじめ、ご講義いただきました先生や親先生、来賓の皆様もご参加くださいました。

会員の席は、各自が会場入口で引いたクジで決まり、久しぶりにコロナ禍以前のよう仕切りの無いテーブルを囲むかたちで行われました。

森西副ブロック長のご挨拶に続き、ブロック相談役西川宗進先生の乾杯のご発

声で始まりました。

おいしいお料理をいただきながら、他青年部の方と楽しくお話ししたり、各青年部持ち寄りの景品をかけてテーブル対抗のジュエスチャーゲームをしたりと、楽しく盛り上がりながら親交を深めました。ベストジュエスチャー賞に選ばれた金ヶ崎全国委員長には、ホテルのBBQペアチケットが贈られました。

最後に山本直前ブロック長からのご挨拶があり、盛況の内に終わりました。



実技指導① 割 稽 古

このたび、業舩指導を初めて受けさせていただきました。

帛紗捌きから一つ一つご指導いただき、普段のお稽古に何気なく取り組んでいるわけでは決してありませんが、改めて身が引き締ま

る思いでした。

お稽古を始めたときの気持ちや思い出し、指先から意識を向けて一つ一つの動きを大切にしていきたいです。お点前の動作一つ一つがごちそうなのだ、というお言葉もありましたが、少しでもよいと思っていただけ一服を差し上げられるよう、これからまたお稽古に励んでいきたいと思っております。

大変貴重な機会をいただきありがとうございます。



実技指導② 続き薄、平花月

「もてなす側」「もてなされる側」双方の知識を深める為、続き薄の点前を今日、業舩の北見宗樹先生に、ご指導いただきました。

柄杓の扱いなど守るべき点前、所作を美しく魅せるコツ、そして、社会情勢の変化に伴い茶道のあり方も変化し続けている昨今にお

いても、忘れてはならない本質である根源の精神について、その時、その場を共有するものがお互いを思いやる心や、一碗のお茶が一つなく一体感についてお話しを伺い、改めて茶道の精神について再認識しました。

実体験に基づいたユーモアを交えながらのご指導に、緊張も和らぎとても楽しく点前をすることが出来、大変有意義な時間となりました。

これからも点前のみならず、思いやりの心や絆を大切に精進してまいります。



**青年部全国委員メッセージ
閉 会 式**

終わりに青年部全国委員会 第29期委員長 金ヶ崎政伸様よりメッセージを頂戴しました。

茶道を始めた頃のお話や全国委員会、近畿第二ブロックとのご縁について、

また、親支部・親先生とのコミュニケーションの大切さや学茶との関わり合い方などについてお伺いしました。



最後には、第29期全国委員会テーマ「スマイル」についてもお話いただきました。

スマイルは自分も周りも和やかにします。ブロック内での交流を重ねて楽しい青年部活動へと繋げていくと、と締めくくられました。

また、閉会式では総本部総評として淡交会総本部組織部担当の小野田桂子様より「茶道は連綿と受け継がれる文化であり、先人の失敗や経験から学ぶことや自分たちが学んだことを次の世代に繋いでいくことが大切です」などお話を頂戴しました。

今回の研修会では、「和」をもって、新たな一歩を結ぼうと努めてなす力もて



なされる力を磨いてこれからのお茶会を楽しもうと」をテーマに開催しました。

知識や技術力を深めていただくと共に、六青年部の参加者同士のご縁、親睦を深めていただきました。

二日間学ばれたことをそれぞれの青年部に持ち帰っていたいただき、今後の茶道、青年部活動が楽しく有意義なものとなりましたら幸いです。



近畿第二ブロック出向者対象交流事業
「LOVE&PEACEを
バーベキューで唱う in 二色浜」
令和五年十月二十二日(日)
UNITY KIX beach resort

令和五年十月二十二日(日)ブロック出向対象者交流事業として、二色浜に隣接した会場でバーベキューが行われました。

会場に到着後、名札にニックネームを書き、ワイニングラスに絵付けをしました。

第一部では、くじ引きで決まった班(バーベキュー班、スープ・野菜ステイック班、たこ焼き班、おにぎり班、フルーツポンチ班、団子班の六班)に分かれて準備を行い、準備後は各班が作った料理をみんなでいただきました。

その後、スラックライン、ロシアンルーレット(激辛おにぎり)のゲームが行われました。

第二部では、前半・後半の二班に分かれて、呈茶をいただきました。

団子班の作ったお団子とシェイカーで作った冷抹茶を絵付けしたワイニングラスを絵付けしました。

一般的なバーベキューとは違い、楽しい企画が盛り沢山で、あっという間の四時間でした。



2024年度 行事予定	
2月11日(日)	ブロック協議会
11月23日(土・祝)	次期役員予定者 研修会
12月1日(日)	同風発行

〒569-0085 高槻市南松原町五十一
電話 ☎三三六七五〇九四一
FAX ☎三三六七二九六一八

梅園松籟居
楽茶碗

芦屋釜

創業四百五拾年
お抹茶 好方・白
お濃茶 爽明・蒼
お薄茶 好方・白

鴨雲斎大宗匠御好
坐忘斎宗匠御好
お濃茶 志高展の誓
お薄茶 五雲の白

上林春松本店
TEL 0120-220086
FAX 0120-220086



題字は鶴雲斎大宗匠筆
発行所
茶道裏千家淡交会
大阪四青年部連合会
発行人
会長 税所 貴一

ご挨拶

会長 税所 貴一



大阪四青年部をはじめとする役員の皆様には、多数の出向者を大阪四青年部連合会に輩出して頂き心より感謝申し上げます。
今年も四年ぶりに天神祭献茶船が開催されました。それに伴い、大阪西青年部の皆様に主担当をしていただきながらも、東西南北の青年部から次の青年部に繋いでいくために若手メンバーにも参加していただきました。おかげさまで無事に大盛況に終わることができました。

茶道教養講座も第五三九回〜五四七回まで無事に開催することができました。特別展覧も藤田美術館様や裏千家学園講師の谷端昭夫先生のお力をお借りしながら、約百名の方にご参加いただき、開催することができました。

来年度は教養講座も五五〇回を迎えます。二十六年ぶりに記念茶会も開催させていただきます。縦の繋がり、横の繋がりを大切にして、昭和三十八年から続く歴史あるこの教養講座に一人でも多くの方に参加していただけるよう、新しいことにもチャレンジしながら、魅力ある講座運営を出向者の皆さまと共に力を合わせてまいります。

各支部親先生、諸先輩方々におかれましては、これまでと同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「作家 紫式部と源氏物語の魅力」

園田学園女子大学名誉教授
福嶋 昭治 先生



2月27日

二〇二四年の大河ドラマの主人公である紫式部の半生を、様々な歴史的文献を用いながらご講演をいただきました。その当時の世相や父親である藤原為時の境遇からお話しいただき、賑やかな都を離れ、父の赴任先であった自然豊かな越前にて過ごした時期がいかに紫式部の感性に大きな影響を与えたかがよくわかりました。

「有職故実と木具師の仕事」

木具師
橋村 萬象 先生



7月27日

襲名十五周年を迎えられた橋村先生に代々受け継がれてきた道具や作業工程のスライドに沿って分かり易くお話しいただきました。有職故実には先人の経験から生まれた知恵が詰まっていること、お好み道具には形や寸法、綴じ目の数や間隔も決まっております、使用側の点前にも活かされていることを学びました。

また、大変貴重な「千歳盆本科」と「冷泉家文台」の注文書のお軸もご披露いただきました。

「落語でいっぶく」

桂 吉坊 先生
3月13日

落語とは、「真似る」可笑しさを基に発展した芸能であり、元禄期に現在の形が生じたことや、江戸と上方の違い、落語の世界や特徴の現況について、ご説明いただきました。古いものを残すという日本文化は、継いできた人・物・事への敬意に因ることなど、落語と茶道には、似ているところがあるように思いました。

また、ご用意した高座で、お茶にまつわる古典落語「はてなの茶碗」を聞かせていただきました。

「和菓子の歴史」

中山 圭子 先生
5月19日

「菓子」本来の意味は、現在の和菓子のようなものではなく、木の実や果物を意味し、中国から伝来した「唐菓子」、禅僧が中国から持ち帰ってきた「点心」、ポルトガル人が持ち込んだ「南蛮菓子」、三種類の菓子の影響を受けながら、砂糖の流通量が増えることで、日本独自の菓子文化が発展し、和菓子が大成するまでを、虎屋文庫で收藏されている資料を映像と冊子を交えながら、お話いただきました。

「表具について」

中島 文雄 先生
10月6日

京都にのみ根付いた特有の伝統文化である「公家文化の有職料理」「寺文化の精進料理」「茶文化の懐石料理」「町衆大旦那文化の会席料理」これら四つの柱がそろうていたからこそ、「仕出し」というものが文化として成立し、人々の生活に浸透した歴史から、多様化した食のあり方を取り入れつつ、現在に至るまでの変遷のお話を伺うことができました。

仏教が伝来すると、日本でも経巻が多くつくられるようになり、中国から紋唐紙が輸入され、寝殿造といった建築様式とともに襖が広まるなど、時代の変化とともに、表具の種類が多様化し、掛物としても様々な場面に用いられるようになってきたとお話しいただきました。実際に表具の作業に用いる、刷毛、揉み紙、本紙などの様々なお道具を手にとらせていただき、表具に対する見識が深まりました。



天神祭 献茶船

担当 大阪西青年部

大阪西支部幹事長

木村 宗津 先生

四年振りの開催となりました天神祭の船渡御で、献茶が無事に滞りなく行われましたことお慶び申し上げます。

当日は猛暑の一日となりました。京都と大阪を繋ぐ大動脈の大川で、行き交う船に乗る人々が手を振り合う様は、まさに水の都ならではの光景でした。

夕暮れとともに御鳳華船のお出ましとなり、大阪四支部青年部の献茶船では皆の見守る中、緊張の時を迎えました。

真摯な心で点てられた一盃が御鳳華船に吸い寄せられるように静かに近づき、神職の方に手渡された瞬間に心が高鳴り、これが真に神事なのだ、と実感しました。

そして遠ざかる船を見送り、水面を眺めながら、今後もしも色々困難な局面が生じるかもしれないけれど、どのような形であれこの特別

な行事を永く守ってほしいと切に願いました。ご乗船頂いたご来賓の皆様、この日の為にご尽力下さった四支部青年部の皆様、心より感謝と御礼を申し上げます。



7月25日



「季節や趣向に合わせたお棚の選び方」
今日庵業鉢部
富士田 宗啓先生



6月22日

大阪四青年部連合会 ホームページ
茶道教養講座等の最新情報を発信しています！

お棚には様々な種類があり、それぞれの由来や造詣によって、好まれる場面や季節があるということを、写真を交えながら、とても分かりやすくご講演いただきました。

ただし、あくまで好まれるだけであって、他の時期に使用することも問題なく大切なのは、そのお道具の歴史的背景を知っているかどうかということ、力強くお話しいただき、今後のお稽古に活かしたいと思いました。

令和6年度（2024年）茶道教養講座予定表

回	月日	演題	講師
548	2月	黒赤茶碗のできるまで	今日庵出入方陶器師 吉向 十三軒 先生
549	3月	釜になるまで	釜師 十五代 宮崎 寒雉 先生
550	4月	未定	今日庵 業鉢 先生
551	5月	第550回 記念茶会	
552	6月	十牛図・人生の旅	大徳寺大慈院 住職 戸田 惺山 先生
553	7月	茶席のお菓子	塩芳軒 五代目主人 高家 啓太 先生
554	8月	源氏物語	園田学園女子大学 名誉教授 福嶋 昭二 先生
555	9月	茶の湯と香	香老舗 松栄堂 主人 畑 正高 先生
556	10月	歌舞伎や文楽の中の「お茶」の場面	伝統芸能研究家 烏井 千栄子 先生
557	11月	お茶を楽しむ	丸久小山園 代表取締役社長 小山 元也 先生

(注) 第550回記念茶会は、別途会費が必要です。

要 項
日時 講演日は開催月の1か月前までに決定します。午後7時より8時30分迄の予定。
会場 大阪市内の公共施設
会費 年会費 大阪四青年部会員 4,000円 一般会員 6,000円
臨時聴講(1回につき)大阪四青年部会員 1,000円 一般会員 2,000円
※ 講師・講演内容等により、「会場開催」のみとなる場合や開催日時・内容の変更または中止する場合があります。

最初に、事前収録の谷端 昭夫先生による講演「近代の関西教習者 藤田伝三郎」を視聴していただきました。講演視聴の後には、藤田美術館の学芸員の方に解説をしていただき、展示室の見学を行いました。

リニューアルされた藤田美術館は、現代的な美術館となっております。また、併設されたあみじま茶屋にて、団子とお茶を楽しんでいただきました。

昨年度に引き続き、皆様のご協力により、特別展覧を実施する事ができました。

特別展覧
藤田美術館の展観と谷端 昭夫先生によるご講演



9月24日



題字は鶴雲斎大宗匠筆
発行所
淡交会 大阪東支部
大阪東青年部
発行人
部長 竹田 哲之助

ご挨拶

部長 竹田 哲之助



本年度より大阪東青年部の部長を仰せつかっております竹田哲之助でございます。我々の活動に対する皆様方のご理解とご協力のおかげをもちまして、新型コロナウイルス感染症による制限のない形で一年間の活動

報告が無事にできますこと、大変嬉しく思うと共に心より感謝申し上げます。また、中川ブロック長、

税所会長をはじめとする近畿第二ブロック、四青年部連合会の役員の皆様には、当青年部より出向させていただいているメンバーが、素晴らしい成長の機会を賜り、深く感謝申し上げます。

「素直な心で 一を重ねよう」のテーマのもと、何事にも真摯に向き合い、一つひとつを丁寧に積み重ねてまいりたいと思っております。来年度もこれまでと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今期のテーマ
**「素直な心で
一を重ねよう」**



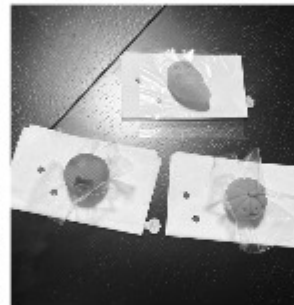
全体会議
三月十八日(土)
生國魂神社内参集殿
久しぶりに対面形式で全体会議を行いました。



友笑茶会
四月二十三日(日)
生國魂神社内玉秀庵
今年「笑顔」をテーマにしたお茶会を行いました。薄茶席と、初めての試みとなる紅茶席でおもてなしをしました。



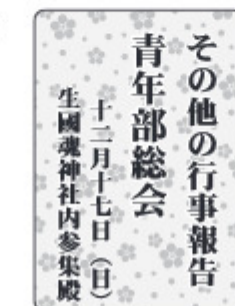
住吉大社献茶式
九月八日(金)
住吉大社内吉祥殿
丹心斎若宗匠ご奉仕による献茶式が執り行われ、青年部は副席を担当させていただきました。



事業委員会行事
十月二十九日(日)
深江郷土資料館
角谷與斎先生のご案内による資料館見学と釜についての講話、寺岡多佳先生ご指導による扇子の絵付け体験を行いました。また、立礼茶会も行われました。

**ご卒業
おめでとうございます**
井川 智子さん
稲山 敦子さん
中本 慎一郎さん
吉野 香代さん
これまで青年部活動にご尽力いただきありがとうございました

**その他の行事報告
青年部総会**
十二月十七日(日)
生國魂神社内参集殿



大阪東青年部交流会
九月十八日(月・祝)
楓林閣 阿倍野店
親支部の先生方、コロナ禍で卒業式ができなかったOBの皆様をお招きし、交流会を催しました。



題字は鶴雲斎大宗匠筆

発行所
淡交会 大阪西支部
大阪西青年部
発行人
部長 戎 健太郎

ご挨拶

部長 戎 健太郎



本年度より大阪西青年部部長の役をお預かりします戎健太郎でございます。

コロナ禍にてマスクやワクチンに代表される分断された価値観、オンラインで広がったものの希薄になった人間関係など、潜んでいた問題が一気に顕在化し、あらゆる組織体は再出発の時を迎えています。「自身が楽しみ、和の精神で人と人の「つながり」を生み、未来をつくる」私たちの手で「和」をテーマと定めました。まず自身がファーストベンギンとなって活動を楽しみ、「和」という人と人との関係から生まれる「つな

がり」の大切さを再認識することで、私たちの手で未来をつくって参ります。皆様には、引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5・6年度のテーマ
**「和」を感じることで
人と人の「つながり」を生み、
未来をつくる
～私たちの手で!～**

第一回例会

二月二十六日(日)、本年度最初の行事としてハイブリッドで例会を開催しました。

委員会紹介では、幹事より画像を見ながら青年部活動を説明し、新入会員の方々にも理解してもらえようように努めました。例会前後の時間でごさまへお呈茶もいたしました。お茶で繋がった仲間と

もに、活動できることに感謝し、ともに活動に励みたく思いました。

会員交流例会

四月二十三日(日)、会員間の交流と情報共有を目的としたランチミーティング例会を開催しました。

例会では、幹事から今後の行事予定について、新入会員さんに向けて丁寧な情報共有を行い、その後昼食をいただいた後に、出席会員同士がお互いの名前を覚えるためのミニゲームを行うなど親睦を深めました。



「宝塚歌劇好きの*きん」など、特徴と名前を一緒に覚えることで気軽に話ができる関係性が構築され、今後の活動が楽しくなる良い機会となりました。

天神祭献茶船

七月二十五日(火)、一千余年の伝統を誇る日本屈指の祭典である「天神祭」

船渡御において御鳳輦船へお献茶ご奉仕させていただきました。献茶船担当を当青年部がいたしました。

厳粛な雰囲気の中、船上にて献茶奉仕が行われ、ゆっくりと御鳳輦船に近づき、部長取次のもと御鳳輦へ献じられました。



その後、皆さまへも一服差し上げ、お弁当をいただきながら夜空を彩る奉納火花を鑑賞いたしました。

四年振りの献茶船参行、また七年振りの担当ということで、戸惑いもございましたが、持ち越しとなっていた献茶船担当を歴代役員やスタッフとともにご奉仕することができました。

今後各青年部担当も七年ぶりとなるため、持続可能な開催という目的を掲げましたが、会員から「企画・お道具・献茶船の設えに至るまで細やかな準備があり、青年部がっつないで来た想いがあることを感じました」という感想をいただき、神聖な雰囲気の中で目的を達成することができました。

親子交流会



親子交流会

九月二十三日(祝)、日頃よりお世話になっている先生方と青年部会員との交流を目的とした親子交流会を開催しました。午前中は、日本におけるスリッパウェア第一人者である陶芸家柴田先生の工房を訪ねて絵付け体験を行い、昼食は丹波黒大豆発祥の地にて、地元

の味わいランチをいただき、午後からは丹波焼きの記念館と能楽資料館を拝観しました。親先生方とバス移動中も交流する時間を設け、とても楽しいバスの旅となりました。



祝ご卒業

蕨田昌子様
井上ヤスコ様
大西直様
寺西美晴様
山畑裕一様
小池竜平様
小杉仁志様
善野良様
長年活動へご尽力いただき、ありがとうございます。

令和五年度

行事報告

- 二月二十六日 第一回例会
- 四月二十三日 会員交流例会
- 七月二十五日 天神祭献茶船ご奉仕担当
- 九月二十三日 親子交流会
- 十月七日 国際交流茶会
- 十二月三日 総会・卒業茶会



題字は鶴雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪南支部
大阪南青年部

〒595-8504 大阪府東淀川区
大阪南青年部

テーマ

「コミュニケーション」
和をひろげよう

ご挨拶

部長 森西 聖



日頃より大阪南青年部の活動にご協力いただきありがとうございます。本年は支部のみならず四青連やブロックでの事業を皆様のおかげで盛況のうちに行うことができました。

しかし、コロナ禍も落ち着きを見せる中、人が起こす騒乱が収まらない一年となりました。私たちの身の回りにも少なからず影響があり、世の中にはピリピリとした空気が漂う中で生活を過ごしているように感じます。今のような状態に



こそ自分を律し相手を思いやって行動する茶道の精神で日々を過ごしていくことが大事だと考えています。来年も「コミュニケーション」を和をひろげようをテーマに活動していきます。二年目として具体的にやりたいことは、やはり会員の増強です。様々な事業が今年から復活し、活動の量や幅がひろがっていますので、よりひろがりのある内容にしていく所存です。

最後になりますが、諸先生方、先輩方におかれましては引き続きのご理解ご支援をお願い申し上げます。

第一回全体会議

2月19日(日)
於：がんこ和食難波本店

二月十九日(日)がんこ和食難波本店にて第一回全体会議と新年会を開催いたしました。

懇親会では、森西部長に「わ」の文字を揮毫いただきました。(宮本 英嗣)



祝ご卒業

岩川 恵理様
金島 由枝様
北野 嘉一様
柴橋 明子様
中村 涉様
山本 修史様
おめでとうございます
(五十音順)

大寄せ茶会

「かえる茶会」
6月18日(日)

於：生國魂神社 玉秀庵

六月十八日(日)生國魂神社 玉秀庵にて大寄せ茶会を開催しました。

今回は「かえる茶会」と銘を打ち、この季節にぴったりの涼を感じる待合床の設えをする事が出来ました。飾りの製作はみんなでパークラフトのかえるや紫陽花を作るのが楽しく和やかな時間でした。

茶道を初めて一年と少しでこのような大きな茶会に参加させて頂きました。心地良い緊張感の中で、森西部長や諸先輩方には優しくご指導頂き、とても勉強になる事ばかりでした。この日の経験を今後の茶会に活かしていきます。(平山 亜由実)



会員交流事業

「古帛紗づくり体験」
7月22日(日)

於：大阪市立総合生涯学習センター

七月二十二日(日)大阪市立総合生涯学習センターにて会員交流事業「古帛紗づくり体験」に参加しました。

会場に親先生や皆様が入って来られると、交流会が始まったことの嬉しさを感じると同時に、この日のために心を込めて準備をして下さったスタッフの皆さまに感謝しておりました。

針や糸を使った作業に苦手意識はありましたが、周りの皆様の丁寧なサポートもあり、和やかな雰囲気でも進めることができました。出来上がった手縫いの古帛紗は触り心地も良く、楽しい思い出と共に、特別なお道具になりそうです。(小林 千鶴)



天神祭献茶船

7月25日(水)

七月二十五日(水)に執り行われました。天神祭献茶船のご奉仕に参加させていただきました。

四年振りの開催で、かつ、来年の担当ということもあり、午前中の準備からお邪魔して勉強させていただきました。

当日は勿論のこと、それまでの関係各所との打ち合わせや準備など、長期間準備をされていたことが何われ、西青年部の皆さまのご苦勞と次回この役割を担う重要性が感じられました。

御鳳葎奉安船への献茶は周囲からの注目の下、緊張した空気が船内に流れる中、無事終了しました。

問近に菅公御神霊を乗せた御鳳葎船を拜することができたのは、何物にも代え難い体験でした。

また、船着場まで戻る船中、皆さまと共に奉納花火を眺めながら和やかに過ごしつつ、お心遣いに感謝するとともに、来年もご乗船の方々に喜んでいただけるよう、心構えをしていきたいと思います。(古寺 博美)

平素より我々青年部の我々青年部の諸活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。来期も引き続き大阪北青年部の部長を拜命させていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



ご挨拶
部長
吉田 直人

令和6年度テーマ

絆



題字は鶴雲斎大宗匠筆
発行所
淡交会 大阪北支部
大阪北青年部
大阪市福島区海老江 1-2-9-102
徳田 一誠 方

これまで大阪北青年部を支えてこられた親先生、先輩、関係各位に感謝し、活動を進めさせていただきたいと思っております。

「絆」

とさせていただきます。まずは昨年のテーマであります、「人のつながり」を継続しながら、そのつながりの風呂敷を広げて、組織の継続、発展していく組織運営を常に心がけ、行事や事業の中で、会員同士の絆を深めて、組織の発展をめざしていく心がつなごうと思っております。



親先生・諸先輩の皆様にはこれまでとかわらぬご指導・ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。



お忙しい中、お越し下さった諸先生および、諸先輩方には改めて御礼を申し上げます。
(南 創太)

秋の茶会 「歩む」

九月十八日(月・祝)
生國魂神社内 玉秀庵

今回は「歩む」とテーマを定めました。

コロナの自粛期間が明け、今年から通常通りにお茶会を行う事となったことから、会員一同青年部活動を心機一転、歩んで行く所存です。当日はお天気にも恵まれ、初秋を感じる茶会になりました。

今回の茶会をきっかけに青年部への入部を決めたとおっしゃるお客様がいらっしゃり、大変嬉しいことになりました。

コロナ禍を越え、以前の姿に戻りつつある今日この頃、秋の趣向を凝らしつつ、「歩む」をテーマに生國魂神社内玉秀庵にて秋の茶会を開催いたしました。

まだ二年目の私に優しく準備を教えてくださいました。お点前をさせていただき、とても貴重な経験になりました。

北青年部の皆様に迎えていただけたのだと嬉しく思います。これからも楽しみながら精進してまいります。ご来会くださった皆様、ありがとうございました。
(村主 恵理子)



生國魂神社 献茶式 副席

十月二十八日(土)
生國魂神社内 玉秀庵

十月も終わりを迎え暑さも和らぎ、晴やかな秋晴れの中、伊住宗禮様ご奉仕による生國魂神社献茶式が執り行われました。

青年部として副席を務めさせていただきますました。御園棚でのお点前で一日を通して多くのお客様におもてなしをさせていただくことができました。

(徳田 一誠)



【令和6年度行事予定】

- 3月 下旬 こども茶道教室
- 4月 中旬 親子交流会
- 6月 中旬 会員手作り研修会
- 10月 中旬 秋の茶会(生國魂神社内玉秀庵)
- 12月 中旬 定時総会



【令和5年度十一月以降の
青年部行事】
十一月十九日
会員手作り研修会
(中村翠嵐工房)
十二月十日
定時総会
(TODA BUILDING 心斎橋)

青泉

題字は鶴雲斎大宗匠筆
発行所

淡交会 堺支部
堺青年部

大阪府泉大津市池浦町2-8-17
高寺 寿恵 方

年間テーマ

笑顔で集える場の創造

「思いやり」を未来へ

ご挨拶

部長 中野 真哉



本年度堺青年部の部長を務めております中野真哉でございます。

今期堺青年部では「笑顔で集える場の創造」「思いやり」を未来へをスローガンに事業を展開してまいりました。未曾有のコロナ禍の終息に伴い、常に笑顔で集える対面事業を堺青年部役員一同で企画、運営をするなか様々なご縁を頂戴し、なかでも今年で第50回を数える「堺まつり」では堺市と連携し親先生に見守られた中240名の野点呈茶会を開催しました。



本年8月に堺で開催されました近畿第二ブロック研修会では当青年部より宮谷万貴さんを研修委員長として輩出させていただきました。ホスト青年部として多様な機会を与えていただきましたこと深く感謝申し上げます。来年度も私は堺青年部会員が常に笑顔で集える様、邁進していく所存でございます。皆様には何卒ご高配並びにご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

二月二十五日(土) 初総会

於：かき豊 中店

3年ぶりにリアル形式で開催することができました。皆さんと顔を合わせながら美味しいお食事や堺のお菓子で一服をいただき、総会を行いました。今回が初めての行事となった会員さんも、あたたかく楽しい雰囲気がとても伝わってきたと楽しんでくださいました。

五月二十七日(土) 新入会員歓迎茶会

於：南游菴 小森商店

新入会員の皆さんをご招待しお茶会を開きました。その後は自己紹介を交えながら点心をいただき、笑顔あふれる一日となりました。昨年引き続き今年もまた新入会員の方々をお迎えし同じ時を過ごせること幸せに思います。



八月二十六日(土) 委員会行事

於：音羽山荘

箕面の隣松亦無庵にてお茶会、その後、梅屋敷にて川床料理を楽しみました。普段は運営にまわる役員の皆様は、お客様としてゆっくり過ごして頂きたいという感謝の気持ちを込めて委員会メンバーでお迎えしました。



十月十五日(日) 堺まつり 野点席

於：堺市 大小路筋

第50回堺まつりにて野点茶会を開催しました。道路上に野点席を設ける堺まつりでも初めての試みで、青年部内や堺観光コンベンション協会様とも打ち合わせを重ねながら準備を進めてまいりました。当日券だけのお客様に来ていただけるのが不安もありましたが、満席が続きました。お抹茶を初めて飲んだというお子様や外国の方など様々な方にも楽しんでいただき、お茶や堺の魅力を少しでも伝えられたことを嬉しく思います。



ご卒業おめでとう
ごさいます

上成 弥生さん
長い間青年部活動にご尽力いただきありがとうございました。

文政元年創業 茶と茶道具の店

松倉茶舗

本店
〒590-0946 堺市堺区熊野町東1丁2番22号
Tel. 072(238)6188 Fax. 072(222)2728
E-mail: chabowz0313@gmail.com

茶道具・華道具・美術工芸・記念品

株式会社 小森商店

直販部：〒590-0946 堺市堺区熊野町東3丁2-26
TEL.(072) 233-3530
FAX.(072) 221-6752
E-mail: komori1@muc.biglobe.ne.jp

ご挨拶
部長 森下 泰寛

和歌山青年部の部長を務めております森下泰寛でございます。平素より和歌山青年部の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度は「一期一会」のテーマのもと活動を行ってまいりました。本年度は和歌山青年部活動展と題する行事を行い、日頃お世話になっている先生方をお招きし、青年部の



発行所
淡交会 和歌山支部
和歌山青年部
和歌山市湊定45-2 カーサオーヴェル300
事務局 東谷 歩 方

温山荘園での「初茶会」で

以前から青年部の活動については何度かお話を伺っていたのですが、コロナ禍もありなかなか入会させていただく勇氣もありませんでした。

初茶会

活動をご覧いただくとともに社中さんを紹介いただくなど新たな出会いもございました。来年度は引き続き「一期一会」のテーマのもと、会員同士の絆をより深化させ、和歌山青年部の魅力をより多くの人々に発信することを目指します。



和田瑞季



自分以外の方々と親睦を図り、私達青年部のメンバーのことを知って頂く貴重な機会となりました。青年部があるのも、社中でお稽古を通して、多く

した。お運びをさせていただいたのですが、前日の準備から当日までたくさんの学びがあり、入会してよかったなと改めて実感しました。

その後も活動展やブロック研修会など、外部の先生をお招きした青年部ならではの行事もあり様々な分野を知ることで、普段のお稽古とはまた違った視点でとても充実した時間を過ごすことができました。

先生方に青年部活動をより知って頂くために、今年度は新しい試みとして、お茶席とは別に「青年部活動展」として、青年部活動を紹介するブースを設けました。青年部活動やリーダーシップトレーナー研修に参加された方の写真や作品をコメントを添えて展示し、6月は先生方に、9月は先生方とそこの社中さんにご覧いただきました。

和歌山青年部活動展
第1弾 6月4日
「親愛なる先生へ」
第2弾 9月24日
「楽しくなる茶活」

ご卒業
おめでとうございます
青山 宜香さん

これまで青年部の活動にご尽力いただき、本当にありがとうございました



の先生方に御指導頂いているからこそであり、お世話になってる先生方と親睦を図る良い機会となりました。
濱田 湖美



お点前、観梅茶会、青年部活動展。企画・準備当日まで参加、皆さんのアイデアや感性にワクワク!!。お道具の扱いや心構えなど先輩方、親先生方にご指導を頂き、今までに経験の無い貴重な体験をさせて頂けた事が私の宝になり感謝の気持ちで一杯です。
青山 宜香

卒業の今年、初茶会では初お点前、観梅茶会、青年部活動展。企画・準備当日まで参加、皆さんのアイデアや感性にワクワク!!。お道具の扱いや心構えなど先輩方、親先生方にご指導を頂き、今までに経験の無い貴重な体験をさせて頂けた事が私の宝になり感謝の気持ちで一杯です。

卒業生からのメッセージ
先生から「青年部に入会しない？パスツァーやお茶会、自分達で企画して色々出来て楽しい所よ」と紹介されました。その頃「青年部一年間お試し」キャンペーンをしていると聞き入会。と同時にコロナ禍で行事が自粛になりましたが、オンラインで活動する楽しみ方も味わえ、とても新鮮でした。そして、去年より行事再開、奈良パスツァーや楽茶会に初参加、リアル体験が出来た事に喜びを実感。卒業の今年、初茶会では初

地球と人の未来のために
持続的な世界の発展のために



ダイサン株式会社

総合人材サービス
アウトソーシング・人材派遣・流通加工



大阪府北区天神橋8丁目13-23 06-6353-3233 <https://daisan1.com/>

(大阪東青年部)

Rakuten 楽天証券 SBI証券
東海東京証券

独立系ファイナンシャルアドバイザー
中本 慎一郎

投資家サポート株式会社 Tel: 06-6809-7084
〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 Fax: 06-6360-7779
堂島ビルディング3階 携帯: 090-5041-6176
近畿財務局長(兼任)第365号 s-nakamoto@toushika.co.jp

(大阪東青年部)

私たちは「和と誠実」の精神で社会に貢献します



中谷機工株式会社

「人間力」で社会とともに
HARMONY & SINCERITY / SINCE 1902

代表取締役社長 中谷 憲正

〒661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町6-8-18
TEL:06-6421-3010 fax:06-4961-5606

<http://www.nakatani-grp.com/kiko/>

(大阪西青年部)

お客様の「困った!」を
システムからホームページまで
IT分野を通じて解決・支援します。



YODOQ
We keep chasing our dream

<https://www.yodoq.com/>

(大阪西青年部)

えびす工務店



株式会社 戎工務店

新築・リノベーション・大規模改修の設計・施工

代表取締役 戎健太郎

(大阪西青年部)

建築、建材資材の生産加工から現場納品まで関わる全ての業務を一括対応



株式会社 中川工業所
Nakagawa Industry & Logistics Co., LTD.

〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町23-2
E-Mail: info@nakagawa-kgs.co.jp

<http://www.nakagawa-kgs.co.jp>

(大阪西青年部)

創業50年! → 2024



株式会社 森西

〒533-0003 大阪市東淀川区南江口1丁目4番17号
TEL:06-6329-2024 WEB <https://morinishi.jp>

(大阪南青年部)

一般貨物運送事業・貨物利用運送事業



丸正運送株式会社

〒552-0002 大阪府大阪市港区市岡元町3丁目3番13号
TEL 06-6584-1207

(大阪南青年部)

autoserviceNKS 代表取締役 吉田 直人
NAOTO YOSHIDA

株式会社 オートサービス NKS

〒590 0151 大阪府堺市南区小代 233 番地1
TEL 072.205.6454 / FAX 072.205.6451
Mobile 090.4903.9291
Mail nanananaototo12@yahoo.co.jp

(大阪北青年部)

出版・企画・編集



どりむ社

代表取締役社長 税所貴一

住所: 大阪市北区天神西町 8-17 テンマセントラルビル
電話: 06-6313-8001 (代表) FAX: 06-6313-8005
URL: <http://www.dorimu-web.com>

(大阪北青年部)

夢と感動を
立志館ゼミナール

立志館ゼミナールは 南大阪を中心に展開する小学生から高校生までを対象とした総合学習塾です。

「わかるまで教える」という教育方針のもと 子供たちの夢と一緒に追いかけて 生徒一人ひとりの可能性をひらいています。

立志館ゼミナール 立志館

高校受験 小2~中3対象 東北校 TEL:072-292-6363
小中受験 小3~小6対象 三田校 TEL:072-259-8677
大学受験 第1~第3対象 三田校 TEL:072-240-8855
SPEC 個別指導部 小4~高3対象 泉ヶ丘駅前 TEL:072-296-0100
THINK FUTURE 英語学院 小4~高3対象 三田校 TEL:072-240-7676

(堺青年部)

アドバンス ホーム



ADVANCE HOME

くらしに笑顔をプラスする

株式会社 インフィールド

不動産・建築全般・賃貸・売買・管理・土地活用

(堺青年部)

株式会社 スズキモーター和歌山

アリーナ狭島 〒640-8412 和歌山市狭島 379
アリーナ岩出バイク 〒649-6221 岩出市満川 272-1
広川店 〒643-0066 有田郡広川町名島100
アリーナ東山 〒646-0022 田辺市東山2丁目31-20

<http://www.suzuki.co.jp/dealer/suzukimw/>





(和歌山青年部)

森下産業株式会社

取扱品目: 食品原料、食品添加物
分析用機器、食品加工機械等

〒640-8117 和歌山市南細工町1番地
TEL:073-422-1138 FAX:073-425-0890

(和歌山青年部)

2024-2025 年度近畿第二ブロック役員名簿			
役職名	氏名	支部	
顧問	松池 阪廣	一弘	大阪東
	野田 本田	義孝	大阪北
	阪廣 櫻飯	元直	大阪東
	青塩 山	克總	大阪南
相談役	西嶋 村小	宗裕	大阪南
	川村 林村	裕宗	和歌山
	村橋 上森	宗宗	大阪北
	小本 柴村	宗宗	大阪北
ブロック長	中川 雅	照	大阪西
	竹成 森吉	直健	大阪東
副ブロック長	西田 直	野人	大阪南
	吉野 岸本	直野	大阪北
ブロック幹事長	山本 川田	正一	大阪南
	本横 徳東	祥一	大阪北
ブロック副幹事長	中森 宮下	真泰	和歌山
	宮本 和多	英泰	和歌山
ブロック委員	中森 宮下	真泰	和歌山
	宮本 和多	英泰	和歌山
研修委員	宮本 和多	英泰	和歌山
	和多 井山	泰多	和歌山
広報委員	和多 井山	泰多	和歌山
	井山 泰多	多	和歌山
交流会	井山 泰多	多	和歌山
	泰多 多	多	和歌山
研 修 委 員 会			
研 修 委 員 長	羽吉 本	幸子	大阪東
	矢谷 本	浩理	大阪西
研 修 委 員 副長	藤山 本	那加	大阪南
	馬南 宮大	賢創	大阪北
研 修 委 員 計	谷中 大	理子	大阪北
	大	子	和歌山
広 報 委 員 会			
広 報 委 員 長	岡北 井	早香	大阪東
	井古 寺本	好元	大阪西
広 報 委 員 副長	古宮 谷松	佳奈	大阪南
	岡小 林	博英	大阪北
広 報 委 員 計	小 林	昭博	大阪北
	小 林	希	和歌山
交 流 委 員 会			
交 流 委 員 長	藤井 加	久男	大阪東
	多田 谷川	幸あ	大阪西
交 流 委 員 副長	柳衣 山山	晋昇	大阪南
	中本 村牧	理子	大阪北
交 流 委 員 計	井栗 上	美秀	大阪北
	栗	里	和歌山

近畿第二ブロック 各種情報発信中!

近畿第二ブロックでは、年一回発行の機関紙「同風」のほかにも、ホームページやFacebookにおいても、ブロックの各種活動や各青年部より寄せられた活動内容を、随時紹介しております。また、LT出向者が研修で学び、感じたことを報告する記事も掲載しております。

下記に掲載しております、URLやQRコードより、PCまたはスマートフォンからアクセスしてご覧いただくことができます。

近 畿 第 二 ブ ロ ッ ク

◆ ホームページ www.tkk-kinki2.org

◆ Face book ページ www.facebook.com/kinki2seinen




同 風

機関紙命名 鶴雲斎大宗匠
 題字 揮毫 納屋宗淡宗匠
 発行所 茶道裏千家淡交会青年部
 近畿第二ブロック
 発行人 川 雅 照
 ブロック長 中 川 雅 照



|| 利休居士道歌 ||

その道に
入らんとする心こそ
我身ながらの師匠なりけれ

交流事業に参加して

ブロック交流事業のラブ&ピースをテーマとしたBQに参加しました。

受付後にくじ引きと呈茶用のワイングラスへの絵付けをしました。

くじは調理担当のチーム分けで、私は呈茶のお菓子作りに決まり、ワクワクしながらパーベ九則斉唱とともにスタートしました。

お菓子は白玉のみたらし団子でしたが、作るの想像していたよりも難しく、出来上がった時にはホッと

その後は景色の良いルーフトップに移動しての呈茶で、ドラキュラに扮した和多田委員長がシェイカーで冷たいお抹茶を点て、ワイングラスに注いでいただきました。

お天気もよく暑かったので、冷たいお茶はスッキリと美味しかったです。

苦戦して作ったみたらし団子も好評な様子で、嬉しかったです。

このような楽しい会を企画運営して下さった交流委員会の皆さま、ありがとうございました。

しました。

途中、それぞれのチームが作ったお料理やBQを味わい、スラックラインや激辛おにぎりのロシアンレットなどで楽しく過ごしました。

坐忘斎御家元御好
極上御遠茶
松花の昔
極上御遠茶
清浄の白
鶴雲斎大宗匠御好
極上御遠茶
慶知の昔
松雲の昔
喜雲
瑞泉の白
極上御遠茶
珠の白
松柏

www.marukyu-koyamaen.co.jp

2024年 淡交テキスト〈予告〉1月より刊行 (1号のみ2023年12月中旬刊行)

千宗室/監修 今日庵業部/指導 毎月1冊順次刊行

点前と棚の扱い

【全36巻】
+増刊号3冊

コンパクトで軽い「淡交テキスト」に、待望のタイトルが登場! 点前の流れをわかりやすく、ポイントを押さえて紹介します。

■B6判 56頁(オールカラー) ■各巻定価770円(本体700円)

定期購読 お申し込み受付中

淡交社 TEL.075(432)5156 FAX075(432)5152

寄附先 小山園

〒603-8588 京都市北区旭川通船場口上ル
TEL.075(432)5156 FAX075(432)5152